

## 令和7年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

### 1 開催日時

令和7年7月10日（木） 午前10時30分～午前11時50分

### 2 開催場所

花巻市矢沢第1地割1-36 宮沢賢治記念館多目的ルーム

### 3 出席者

#### (1) 委員6名

中島健次委員（矢沢地域振興会会長）、瀬川卓哉委員（宮沢賢治・花巻市民の会会員）、高橋俊吉委員（早池峰賢治の会事務局）、小原節子委員（宮沢賢治・東和の会会長）、堀合範子委員（花巻ユネスコ協会事務局長）、多田章委員（矢沢地域振興会理事）

#### (2) 事務局（宮沢賢治記念館）4名

菅野生涯学習部長、小原館長、柳原副館長、宮澤上席主査

### 4 議題

#### (1) 令和6年度事業報告について

#### (2) 令和7年度事業計画について

### 5 会議録

#### 会議成立の報告（小原館長）

委員7名中6名出席。宮沢賢治記念館管理運営規則第9条第2項により、委員の半数以上が出席していることから、本会議が成立することを報告。

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ

##### （菅野生涯学習部長）

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、宮沢賢治記念館運営審議会にご出席いただきましてありがとうございます。暑さも今日は一段落したようですが、相変わらず市内ではクマが出没しておりまして、こちらに来る際にも、熊鈴をつけて周辺を散策されている方がおられました。北上市では、人命にかかわる被害があったようですし、花巻市でも鶏が被害にあったということで、罾を設置し対策を講じているところがございます。本日は、令和6年度の事業報告と令和7年度の事業計画を議事としております。今年は、入館者が800万人に達するようで、昭和57年に開館いたしまして、平成8年度に賢治生誕100年の年に入館者が一番多く、62万7千人ほどで、その後年間20万人を超える入館者数だったのですが、平成16年頃に10万人台に下降してきて、平成27年度が来館者700万人になり、途中コロナの蔓延も挟みまして、10年を経て100万人ということで少し予想していたよりは遅く来館者800万人を迎えたということがございます。今後、早く1千万人も達成できるようたくさんのお客様に来ていただければと思います。また、6月21日に、花巻市感謝状贈呈式がございましたが、本運営審議会多田委

員さんに感謝象の贈呈がありました。当日ご欠席でしたので、感謝状をお預かりしております、本会議終了後に多田委員さんへお渡ししたいと思います。

この場をお借りいたしまして、改めて感謝の意を申し上げたいと存じます。ありがとうございました。

委員の皆様から様々ご意見を伺いまして、記念館のより良い運営につなげていければと考えてございますので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。本日はどうぞよろしく願いいたします。

### 3 協議

(中島会長)

今日は皆様お集まりいただきましてありがとうございました。本日は幾分良いですが、最近猛暑が続いておりました。何につけても賢治さんの作品や生き方を引き合いに出すことが日本中の習わしになって来ておりますけれども、岩手県にとっても宮沢賢治は特別な存在になりますし、この宮沢賢治記念館も、花巻を象徴する素晴らしい施設と思ってございます。日々管理運営にあたられている記念館職員の皆さんには御礼を申し上げたいと思っております。賢治さんの世界は、非常に広く深いわけで、私たちはどちらかというと、一部をつまみぐいしているわけですが、たまに特別展のご案内をいただくのですが、このような世界や視点があったのかと新たな気づきがあり勉強になります。今後ともこのような企画をよろしく願いいたします。本日はよろしくご審議の程よろしく願いいたします。

(1) 令和6年度事業報告について

(柳原副館長) 令和6年度事業報告について説明

(瀬川委員)

入館者数を、前年度と比較すると少し減っていますが、これは博物館で開催されたジブリ展に影響を受けたことが原因でしょうか。道路も混雑してしまっていたので、渋滞してこちらの館に入ってこられなかった方もあったかと思われましたがいかがだったでしょうか。

(小原館長)

夏休み期間、博物館でジブリ展があったわけですが、それをめざしてこられた方もいましたし、それに付随してこちらに来館された方も多く見受けられました。当館の夏休みの期間だけの入館状況を昨年と比較しますと、あまり変わってはいないところです。ただ全体的な期間で見ますと、夏休み以外の期間では、入館者が減ったので、ジブリ展に入館者が流れたかなとは感じますが、相乗効果もあったと思います。入館者が減った原因としては、修学旅行生が昨年度より1,600名ほど減っているのも要因になるかと思われました。

(瀬川委員)

特別展ではリーフレットを希望の方はいただけるようですが、350円の入館料でこのような立派な本をいただいているのかな、価値あるものと思ったりするのですが、予算的に大丈夫でしょうか。

(小原館長)

予算の範囲で作成しています。来館者へ展示内容の理解を深めていただくためには必要な資料ではないかと、学芸員も調査した内容を広くお伝えしたいという考えもありますので、これからも特別展においては作成していきたいと考えています。

(瀬川委員)

これは何部くらい作成していますか。

(小原館長)

3, 000部です。

(瀬川委員)

この資料はたくさん配布されているのでしょうか。

(小原館長)

欲しいという方はたくさんいらっしゃいますので、特にも夏休みとか秋の行楽シーズンなどに多くの来館者がいらっしゃいますので、たくさんお渡ししている状況です。

(瀬川委員)

不足することはないですか。

(宮澤上席主任)

たまにあります。特別展の内容によりますけれど。

(瀬川委員)

駐車場にあるさわやかトイレですが、閉館後も30分くらい長く開けていてほしいという声が以前あったのですが、今どうなっていますか。

(小原館長)

以前審議会においてご意見いただいておりますので、それを踏まえて4時30分をすぎましても状況を見ながらさわやかトイレは開けております。

(小原委員)

4ページですが、企業の森活動ということで日東工業株式会社さんが胡四王周辺を草刈りしていると毎年お聞きしていますが、これはどのくらい続いているのでしょうか。このような活動を報道などで取り上げていただければ、ボランティアが増えるのではないかと思いますし、また、このような行いに対して感謝状などを送るなどしてもと思いますがいかがでしょうか。

(中島会長)

日東工業さんは市の誘致企業であり、会社の方針として地域貢献ということを掲げており、その一環で誘致先に貢献していると、本社でも緑を大切にしているという会社だと思っています。普通の誘致企業とはちょっと違うと感じます。

(宮澤上席主任)

もともと「企業の森活動」ということで、森を豊かにしたいと南斜花壇の下のところに植樹をされており、植樹した周辺もきれいにしたいということで草刈りを行っていただいています。7～8年ほどになります。

(小原委員)

長きにわたって作業してくださっているので、節目の年などに表彰してもよいのではないのでしょうか。

(瀬川委員)

5回開催しましたワークショップですが、募集に対して参加人数はどの程度あったのでしょうか。

(小原館長)

参加者20名の枠で募集してまして、十分にご案内できる人数の目安として募集しています。募集は電話等で受付しています。すぐに定員が埋まるので、キャンセル待ちの方も何名か受付しています。毎回人数は満たしているといった状況です。

(瀬川委員)

宮沢賢治・花巻市民の会からの意見ですが、募集枠をもう少し大きくしてもよいの

ではないかというお話がありました。

(小原館長)

参加者の皆さんを誘導して歩く場合に、安全性などを考慮した人数ということで設定していますが、人気の高い講座ですので今後検討したいと思います。

(瀬川委員)

案内する方は、何名くらいですか。

(小原館長)

3名から4名です。

(宮澤上席主査)

乗車するバスの定員などもありますので、そこを調整しながら行っております。

(小原委員)

プロジェクターを更新なされたということですがどのぐらい費用がかかったのですか。

(柳原副館長)

341万円です。展示室内のメインにあたる大きな画面のプロジェクターになります。

(堀合委員)

先程来、特別展のリーフレットが素晴らしいというお話がありましたが、私の知り合いでも、グループで読書会などの際にこのリーフレットを持ってきた方がおありまして、このようなリーフレットだったら、ぜひ行って、特別展を見ながらリーフレットをいただきたいものだ、ついではこの挿絵はいったい誰が描いているのだろうと話題になりました。そういった意味でも、一つの宣伝と言いますか、集客効果があるのではないかと、これからも続けていただきたいなと思います。

もう1点は、5ページの賢治が添削した卒業生の答辞の寄贈があったということですが、貴重な資料が寄贈されたわけですが、近々公開の予定など考えていらっしゃるのでしょうか。

(宮澤上席主査)

今のところ予定はないのですが、特別展として取り扱える時があれば資料として公開したと思っております。

(中島委員)

どなたがリーフレットの絵を描いているのでしょうか。記念館の職員ですか。

(堀合委員)

心得のある方の絵だなと思っておりました。

(小原館長)

伊藤学芸員が作成しております。

(瀬川委員)

直筆原稿は収蔵庫で保管されていますが、収蔵庫は法面にせり出して建てられています。念のためですが今後安全面は大丈夫でしょうか。

(小原館長)

耐震等、建物の基準は満たしているので大丈夫と思われます。

資料の管理につきましても、学芸員が適切に処理を施し保管しています。

(瀬川委員)

資料の管理はどのようにされていますか。

(宮澤上席主査)

湿度調整と虫害対策ですね。

(中島会長)

現在、市では公共施設全般にわたって耐震等について調査を行った上、不備があれば結構な費用をかけて修繕していますね。

(瀬川委員)

ちなみに、原稿はすべて収蔵庫に収められているのですか。

(宮澤上席主査)

そうです。

(多田委員)

1月2日に開催されている胡四王神社蘇民祭の開催とありますが、最近、胡四王蘇民祭保存会が解散するという情報がありました。

(中島委員)

私、関係しておりますので、コロナにより休止している間に辞められる方もでてきて、大きな節目となったことは、黒石寺の蘇民祭が廃止になり、こちらでもそのような空気があって、結果的に来年から開催しないということになりました。昨年までは一応中止という形でしたが、地域へは宮司さんから文書で、開催団体が解散したので蘇民祭は行われぬ旨通知がありました。今まで、蘇民祭に合わせて1月2日も記念館は開館していましたが今後どのようにするかということになりますね。

(2) 令和7年度事業計画について

(柳原副館長) 資料に基づき令和7年度事業計画について説明。

(瀬川委員)

賢治の世界セミナーについてですが、先週日曜日になはんプラザで賢治の詩の朗読会と音楽を含めた発表会がありまして、このとき、花巻北高校の女子生徒さんが詩を朗読されました。そこには、花巻東高校の生徒さんも参加し発表されていたのですが、現役の高校生が、関心を持って一般の方々と一緒に参加し発表されることはいいことだと思いますので、学業等で忙しいと思われそうですが、今一度、このセミナーの対象校として、今年度計画していない高校も開催するように促してもいいのではないかと思います。学校側の都合もあると思いますが、その辺の働きかけはどのように行っているのでしょうか。

(小原館長)

賢治の世界セミナーにつきましては、前年度の2月ころに市内小中学校及び高校へ、次年度の開催について毎年募集を回っております。市内高校からは、令和7年度につきましては、資料のとおり花巻農業高校さんが2回、花巻東高校さんが1回ということで開催希望があったところです。学校の行事等の関係により時間が取れないということが実情かと思っておりますので、無理にも進められないところもありますが、開催の募集は今後も行っていきたいと思っております。

(菅野部長)

花巻北高校の生徒さんには、賢治賞イーハトーブ賞や童話大賞などの時に朗読していただいたりしていますので、全く接点がないということではありませんが少し寂しい感じもします。

(瀬川委員)

賢治の世界セミナーは児童生徒を対象としているが、一般向けにこのようなセミナーなどないですか。

(小原館長)

賢治の世界セミナーのような、同じ形態での一般向けに事業は今のところ考えてはいないです。賢治世界のワークショップということで、市民一般向けに事業を行っています。生涯学習課において賢治まちづくりセミナーということで講座を行っています。

(菅野部長)

生涯学習講座の一環として実施しています。

(瀬川委員)

講座の告知など連携してやっていただければいいと思うが。

(小原館長)

講座の告知につきましては、ホームページや広報はなまきを通じて行っているところでは。

(小原委員)

童話大賞の際に、花巻北高校の生徒が受賞作品を朗読されて、聞いていてとても良かった、高校生や広く多くの人に聞かせたいイベントなのに一般の方はほとんどいない、もっと宣伝していただきたい。残念なことに、受賞者に岩手の出身者がいないという、指導者のいる学校は作品の応募があるのかと思いますが、地元でもそのような指導する方が増えてもいいのではと感じています。

(菅野部長)

数年前は、県内の高校生も受賞していたと思いますが、規模の大きい学校でないと指導の先生がおられないという、童話はある程度の長編になるので取り組みも難しいようです。

(小原委員)

この事業は富士大学と市が主催で行っているのですか。

(菅野部長)

そうですが、残念ながら富士大学から継続できないというお話がありまして、今回をもって終了ということになりました。いいイベントなので市でも今後どうするかと考えております。

(中島会長)

そのほかございますか。

(瀬川委員)

東屋周辺の樹木について、以前は東屋から見晴らし良く景色が見えていたが、今は木が成長してしまってほとんど見えない、木が茂っていると、クマの出没の危険もあろうかと思うが木を伐採する計画はないですか。

(小原館長)

昨年の運営審議会においてご意見いただいておりますので確認したのですが、東屋周辺は市と胡四王神社さんの敷地の境になっていまして、ご指摘のあった場所は神社さんの敷地になりますのでこちらで伐採することは難しいところです。東屋から収蔵庫の下の箇所と、記念館展望室のテラス下の箇所は農村林務課に伐採していただきましたので、幾分すっきりしたかと思えます。また、ロビーから見下ろせる南斜花壇の箇所もかなり伐採していただきました。

(柳原副館長)

農村林務課で胡四王周辺の環境整備として、NPO法人わが環境ネットという団体に委託しているようで、記念館周辺の木も依頼していただいているところですが、胡四王山の南側敷地の中に神社さんの敷地があるのではということで、その辺を

団体に調べていただいて伐採の計画をたてているようです。

(瀬川委員)

敷地も続いているので、熊の対策としても伐採はしたほうがいいのかと思いますが、その辺を進めていただいた方が、安全面としても見晴らしとしてもいいのではないかと考えますがいかがでしょうか。

(柳原副館長)

農村林務課に要望したいと思います。

(小原委員)

熊がこの辺に出たことはあるのですか。

(中島会長)

熊はこの辺出没しています。

神社側では雑木に関して積極的に切るという考えはないと思います。あるいは、農村林務課で神社側と折衝し、胡四王山内にある遊歩道管理の関連から切らせてくれと申し出るというようなことは考えられるが、賢治記念館から切らせてほしいというのは少し考えにくいと思う。

(高橋委員)

大迫には早池峰賢治の展示館という独自の施設がありまして、拠点として活動しておりますので、少し内容をお知らせしたいと思います。長年、展示館の管理を行っていた浅沼会長が昨年10月に急にご逝去されまして、これに伴い、11月に新たに高橋則子さんを会長として選出し再出発をいたしました。事業として、猫山ツアーという事業を年2回企画し行っています。参加者からは好評で募集するとすぐに定員になるほどですが、安全面を考慮して定員10名としています。秋に2回目を行う予定です。6月に内川目振興センターで読み聞かせのような催しを行いまして、50名ほどの参加がありました。今後も継続して行っていきたいです。

(堀合委員)

私も大迫活性化センターを訪れた際に、隣の早池峰賢治の展示館に入りまして、猫の事務所を彷彿とさせるような昭和の雰囲気漂う素敵な建物を拝見させていただきました。ひな人形も飾っていらして、解説いただいて、大変早池峰賢治の会がんばっていらっしゃるなと思いました。

(高橋委員)

宮沢賢治さんが、土性調査で泊まれたという石川旅館のひな人形をそこで飾っています。だいぶ古く、うちの家内が修繕したりしています。あそこの建物は郡役所を移築した建物で中心街の活性化のために復活させ活用しています。

(中島会長)

それでは、議事についてはここまでとして、事務局にお任せします。

#### 4 その他

(瀬川委員)

市民の会からの意見です。記念館の展示方法について、初心者や観光客にわかりにくいという指摘が毎年のようにあるのですが、何がわかりにくいかというと、パネルの内容だと思っております。内容も、とっつきにくく、そして、解説パネルもみんな同じ四角い大きさと並べられている。よく見ると上段が開いている、字の大きさも同じであり、文字数が多くて見ないのではないかと、今度予算があれば修正してはどうでしょうか。メリハリをつけて、例えば、文字の大きさもポイントを大きくしたり太字にしたり、上段のスペースも全部使って展示するともっと読んでもらえると思います。賢

治を学ぼうとする人はじっくり読むと思いますが、観光者などはさっと読んで帰ってしまう。その辺ご検討いただければと思います。

また、1回見たからもういいかなという市民の方も多いので、例えば、市民への無料券を何かの時に配るといったこともいいのではないかという意見も市民の会から承ってきました、よろしくお願ひします

(小原館長)

ご意見として伺いたいと思います。展示につきましては、以前の審議会においてもわかりにくいのではという意見をいただいておりますが、観光で来館される方は、時間が限られているので、ご自分でセレクトしてご覧になっているようです、わかりにくいところは飛ばしながら、例えば童話ですとか星に関するところですかそのような興味のあるところをピックアップして見受けられます。そのような方もいていいのかなと、賢治を勉強するぞというように、長時間滞在してじっくりご覧になる方、いろいろな方がいると感じます。みんながわかりやすい展示、そこが文化施設の展示の難しいところではないかと感じていますが、現在、当館では解説書をお渡しし、展示の見方についてある程度の補助的な案内をしています。予算の都合もありますので、1か所だけ展示形態を変えるということも、バランス的にいかがかと思いますが、長期的な視点で検討していきたいと思っています。

(小原館長)

その他ありますか。

(多田委員)

こちらの管轄ではないと思いますが、新花巻駅から国道を歩いてこられる観光客が見受けられますが、踏切から博物館方面へ上がって来る山側のあたりの歩道の草が伸びているので、草刈りをしていただくよう県の管理担当へ伝えていただきたいです。

(小原館長)

関係部署に伝えます。

(瀬川委員)

冬季間に道路の凍結等により、記念館の登り坂を登ってこられなかった車はありましたか。

(小原館長)

把握している範囲では1台ありましたが、当館の職員で対応しました。

(瀬川委員)

冬季間の除雪等は大変な状況でしょうか。

(小原館長)

状況をみながら、融雪剤や砂をまいたり凍結部分を砕いたりしながら対応しています。

(多田委員)

ピアノがありますが、以前ピアノを使って館内で演奏したりするといったことがありましたが、今後も実施してはと考えます。

(瀬川委員)

そのような事業を、イーハトーブ館と連携して行うことも考えられると思いますが、現在連携している事業はどの程度ありますか。

(小原館長)

企画展で言えば、イーハトーブ館の企画展は、市が学会に委託して学会が企画をして実施しています。ですので、市と連動して実施するという事はしてはいません

が、例えば、昨年度は「春と修羅」「注文の多い料理店」が発刊100年を迎えるという年でしたので、学会でも当館と時期を合わせて、同様な企画展を行ったということもあります。

(瀬川委員)

イーハトーブ館では、理事会などで著名な先生方が来られるので、それに合わせてセミナーを開催し、講演を聞いたりする機会があればもっと有効にまわるのではないかと、その辺が連携の一つと捉えられるのではないかと思うので、できれば検討していただきたいなと思います。

(中島会長)

イーハトーブ館は学会が運営をしているのですが、イーハトーブ館は賢治研究の発表の場であり、賢治記念館と館の性格が違って独自性があると思われれますが。

(瀬川委員)

イーハトーブ館の設立趣意書では、誰でも入って気軽に見てほしいとされているので、広く開かれた館であってよいのではないかと思います。

(中島会長)

企画展も行っており、映像も流している、ホールもあるので利用に関しては整っているかと思います。

(小原館長)

今年度は、賢治の世界セミナーにおいて、花巻農学校さんで杉浦静先生をお呼びして講演いただくこととしています、今後検討させていただきたいです。

(瀬川委員)

生涯学習課でも連携できることはないですか。

(菅野部長)

賢治セミナーを行っていますが、連携ということがどういう形なのかと思いますが、イーハトーブ館と賢治記念館が別々だということではなく、実際、賢治記念館の職員もイーハトーブ館の職員として兼務発令されていますので、あとは、先生方も近くにおられる方は少ないので、こちらにも決まった日程でしかこられないということもありますが、研究の成果を市民へ還元していただくということもいいかと思います。

6. 閉会 (小原館長)